

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 米子南高等学校

重点項目	専門人材育成重点校	提出日	平成31年4月26日
------	-----------	-----	------------

1 学校目標 (平成30年度)	
「昨日の自分を越えていく」(出会い+挑戦=成長)	
1 学ぶ意欲を育てる=「主体性を育てる」「やる気を引き出す」→授業改革	
2 成長を支える=「人と出会い、新たなことへの挑戦を促す」→場の設定・声かけ	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
1 基礎学力の向上 2 基本的生活習慣の確立 3 職業観、勤労観の醸成 4 進路目標の自己決定と達成・職業資格の取得 5 地域社会への貢献 <数値目標> ・就職内定率 H30 目標 10月末 95%以上 2月末 100% ・商業科各種検定・・・特記のない検定は、 全国商業高等学校協会主催 (受験者数に対する合格率) 目標の合格率 1年生 H30 目標 簿記実務検定2級 75%以上 情報処理検定2級(ビジネス情報部門) 90%以上 商業経済検定3級 90%以上 ビジネス文書検定3級以上 90%以上 2・3年生 <全体> ビジネス文書検定2級(含科目) 90%以上 ビジネス文書検定1級(含科目) 70%以上 <分野別> マーケティング分野 商業経済検定2級 90%以上 商業経済検定1級 70%以上 日商・販売士3級 70%以上 会計分野 簿記実務検定1級 70%以上 日商・簿記2級 10%以上 情報ビズ初分野 情報処理検定1級 (ビジネス情報部門) 70%以上 情報システム分野 情報処理検定1級 (プログラミング部門) 70%以上 経産省・ITパスポート 50%以上	<数値結果> ・就職内定率 H30 実績 10月末 95% 2月末 100% ・商業科各種検定・・・特記のない検定は、 全国商業高等学校協会主催 (受験者数に対する合格率) H30 実績 1年生 H30 実績 簿記実務検定2級 19% 情報処理検定2級(ビジネス情報部門) 65% 商業経済検定3級 68% ビジネス文書検定3級以上 99% 2・3年生 <全体> ビジネス文書検定2級(含科目) 98% ビジネス文書検定1級(含科目) 67% <分野別> マーケティング分野 商業経済検定2級 73% 商業経済検定1級 36% 日商・販売士3級 58% 会計分野 簿記実務検定1級(科目含む) 32% 日商・簿記2級 6% 情報ビズ初分野 情報処理検定1級 (ビジネス情報部門) 7% 情報システム分野 情報処理検定1級 (プログラミング部門) 86% 経産省・ITパスポート 100%

・家庭科各種検定・・・特記のない検定は、 全国高等学校家庭科教育振興会主催 (受験者数に対する合格率)		・家庭科各種検定・・・特記のない検定は、 全国高等学校家庭科教育振興会主催 (受験者数に対する合格率)	
	目標の合格率		合格率
2年生	H30 目標	2年生	H30 実績
被服製作技術検定(和服)1級	80%以上	被服製作技術検定(和服)1級	77%
3年生		3年生	
被服製作技術検定(洋服)1級	80%以上	被服製作技術検定(洋服)1級	91%
食物調理技術検定1級	80%以上	食物調理技術検定1級	76%
保育技術検定2級4種目	80%以上	保育技術検定2級4種目	100%
同上 1級4種目	80%以上	同上 1級4種目	-%
調理師免許(厚労省)	100%	調理師免許(厚労省)	100%
技術考査	100%	技術考査	100%
全商・ビジネス文書実務検定3級以上	75%以上	全商・ビジネス文書実務検定3級以上	89%
技術顕彰(検定等上位級2種目以上)	100%	技術顕彰(検定等上位級2種目以上)	59%

3 実施事業

【高等学校課事業】

○外部人材活用事業

商業科：

- ・ 接遇実習(社会人・社員としての基本マナー、接客の心構え、苦情の対処法、接客の実践)
- ・ 流通活動の現状(小売業者の役割、小売業者のビジネス、今後の小売業)
- ・ 地域を活性化するマーケティング

家庭科：

- ・ 調理師の仕事内容、調理師や社会人としての心構えについての講義
- ・ 高齢者施設の食事に関する講義・調理実習
- ・ 外国の食文化・講義及び実習
- ・ ビジネスシーンにおける接客接遇の講義・実習
- ・ 福祉産業についての講義とヒューマンサービスについての理解の深化
- ・ 製菓技術(生菓子、焼き菓子の講義及び実習)

○鳥取県版キャリア教育推進事業

- ・ 地元企業の人事担当者を招き、社会に求められる企業像や企業に求められる人材像等についての講演
- ・ 企業で新人研修等を担当しておられる方を招き、挨拶の基本・社会での礼儀作法等についての講話と演習
- ・ 身だしなみの原則、新社会人、新入生としての適切な服装、スーツの着こなしの講話と演習

○土曜授業等実施事業

- ・ 資格取得のための学習会(専門学校と連携、講師を依頼し学習会を実施)

【学校独自事業】

1 授業改革

- ①学習に必要な読解力の向上(「リーディングスキルテスト」実施、生徒及び教職員への講演、経年比較による必要な対策の検討)
- ②汎用ソフト操作技術の向上(教材開発研修会、専門高校発表大会・米子市のポスター・学校関連行事のポスター・チラシなどの作品制作)

2 人間力向上事業

③地域との交流を通じた人財育成（調理コース成果発表、中心市街地の活性化、幼児とのふれあい交流、命をつなぐ性教育授業）

④環境学習推進プロジェクト（地域の環境施設見学、地元小学校との交流、環境教育講演会）

3 スペシャリスト養成事業

⑤食の安全専門研修（食品衛生施設見学、食品製造工場見学、大学研究機関での講義実験）

⑥コンテンツ産業を支える人財育成事業（外部講師からの講義・演習、企業のポスター広告やホームページの作成）

4 キャリア教育支援事業

⑦進路指導の充実（進路説明会（1・2年生）、職業理解ガイダンス（1年生）、小論文講座（2年生）、進路講演会（2年生）、就職開拓・フォローアップ）、学校・企業見学）

⑧インターンシップ・資格取得の推進（職場体験（インターンシップ）、職場見学、資格取得のための学習会）

5 グローカル人財育成推進事業

⑨春川ハンセンム高校との交流（本校の職員と生徒が、春川ハンセンム高校を訪問し、交流活動を実施）

⑩米南地域おこしプロジェクト（地元食材等を活かした商品開発、地元開催イベントでの販売実習・製造メーカーの見学、大都市圏に対応した販売実習）

4 総合所見（成果・評価）

○主に専門学科の資格取得に重点を置き、事業を実施した。平成28年度、平成29年度の検定合格の実績から目標値を設定したが、特に商業学科に関わる検定において平成30年度の検定問題の出題方式、出題傾向に変化があり目標値と実績に大きな差が出た。技術顕彰の家庭学科においても2級で多くの不合格者を出しており、検定合格も目標値に届いていない。今後指導體制を改善するなど検定の体制を考える時期に来ている。

○検定の合格率を目標設定としたが、受検者人数、年度によつての難易度の上下があり設定方法を変える必要姓がある。

○授業での学びを測る方法として、また進路意識の動機付けとして検定がある。授業での検定指導をうまく利用して、「主体的・対話的で深い学び」につながられるよう、工夫していくことが実績をあげると考える。

○学校独自事業等によつて本校専門学科の特色を活かした活動ができ、スペシャリストの意識付けや地域貢献活動、国際的な視点が広がってきていることは学習成果の発表会などを通じて感じる。今後も地域を教材にした事業を利用して、より専門学科の特色を打ち出したい。

※枚数任意